



七夕の一日 入所者様と過ごす



入所者様に楽しんでいただくためには、まずは自分たちが楽しむこと。



入所者様と飾り付け、そして楽しく過ごす七夕の一日。
楽しいひと時をありがとうございました。

ふたばよもやま話 (第三〇回)

～戸畑祇園大山笠行事～

医学や化学が発達してない昔、疫病や災厄は悪神や怨霊の仕業と信じられていました。

祇園祭の起源は平安時代の京都と言われ、強大な力を持つと信じられたスサノオ信仰に由来するものです。天照大御神の弟であるスサノオ命は、派手なことや賑やかなことが大好きで、鉦などの鳴り物を打ち鳴らし、大きな声で神輿や山笠を担ぐのは、スサノオ命に喜んでいただき、病気や災厄を取り払っていただくためです。

戸畑の祇園は、江戸時代後期から始まったといわれ、飛幡八幡宮記録によれば、享和2年(1802年)、戸畑村に疫病が蔓延し、村人が非常に苦しんだためご祭神・須賀大神に平癒祈願をおこなったところ、瞬く間に終息したので翌年お礼に山笠を奉納したとあります。

東大山笠・西大山笠・天籟寺大山笠・中原大山笠が伝統を守り真夏の夜空を彩っています。



当苑職員も祇園に参加し、入所者様や関係者の無病息災を祈願してきました。



職員紹介コーナー
今回は、永原小和美(さわみ)さんの紹介です。永原さんは、当苑のケアマネージャーとして5月に入職されました。永原さんは、15年以上居宅介護支援事務所で勤務されたベテランです。利用者様やご家族様の意向を踏まえ、個別のケアプランを作成し、適切な介護サービスを提供できるようにしていきたい、と語っておられました。
「相手の話をよく聞くこと」「その人の気持ちに寄り添い、笑顔で一日を過ごしていただくこと」を、仕事をしていく上での心構えにしている、ということでした。
知識、経験共に豊富で、笑顔が素敵な永原さん。利用者様、ご家族様のために頑張ってください。



利用者様だけではなく、職員や関係者も安心して相談できる存在の永原さん。これからもよろしくお願いします！



今月の予定(月)

石橋医院回診(毎月曜日)

4日、18日、25日

小倉北歯科回診(毎火・木曜日)

5日、7日、12日、19日、21日、26日、28日

ますゆき皮膚科回診

7日(木)

ビューティヘルパー

7日(木)

夏祭り

8月下旬予定

【編集雑記】今年もお盆の時期になった。「お盆」は、仏教における「盂蘭盆会(うらぼんえ)」または「盂蘭盆(うらぼん)」を略した言葉とされ、起源はサンスクリット語と言われている。仏教の伝来によって取り入れられた風習だが、日本には古来より夏時期には祖霊を祀る習慣があったとも言われ、日本古来の風習と仏教の考えが混ざり合った結果、現在の日本におけるお盆は、家族や一族が集まり、ご先祖様や故人を偲び、供養する行事として定着している。当苑職員の参加した戸畑祇園をはじめ、日本には数々の伝統行事や風習がある。しかし、時代の流れで変化、さらには消滅したものも少なくない。戸畑祇園や盆行事など、それぞれ由来がある。これらを経験豊富な入所者様にお聞きするのも勉強になるし、また新しい発見もある。▼民俗学の分野で大切な調査に「聞き語り」がある。地区に住む高齢者や知識豊富な方にお話をお聞きし、記録することである。もちろん記憶違いや勘違いも多々あるが、それらを適切に処理し記録することが大切である。▼我々よりはるかに人生経験の長いベテランである入所者様の話は貴重といえる。また、ご本人の活性化にもつながってくる。▼入所者様が暮らしていた地域の盆行事をお聞きしてみたらきっと新しい発見があると思う。